



伝統文化を支える

森林づくり体験

京都の伝統文化と森の切っても切れない関係とは？
京都の森の現状とは？
伝統行事を支える皆さんや専門家のお話を聞きつつ、
現地での作業体験を通じて学んでいただきます。



コバノミツハツツジの花
提供：公益財団法人京都市都市緑化協会

平成27年
12月13日(日)

9時30分～16時(予定) ※雨天決行、荒天中止

- 対象** 中学生以上の方
- 定員** 20名程度 ※応募多数の場合抽選
- 参加費** 無料
- 場所** 三井物産清滝山林 (京都市右京区梅ヶ畑)
【集合】9:30 京都市高雄観光駐車場(京都市右京区西日本JRバス「榎ノ尾」下車すぐ)
- 服装・持ち物** 帽子、長そで長ズボン、山の中で作業ができる靴、タオル、水筒、弁当、軍手
- お申し込み** 11月30日(月)まで (詳しくは裏面をご覧ください)

主催 公益社団法人 **京都モデルフォレスト協会**

協力 鞍馬火祭保存会、三井物産株式会社、三井物産フォレスト株式会社

協賛 一般社団法人 京都府トラック協会

後援 京都府、京都市、京都市教育委員会、京都新聞、 京都放送局

プログラム ※都合により変更となる場合があります。

お話
「鞍馬の火祭の舞台裏と継承について(仮)」
鞍馬火祭保存会会長 三宅 徳彦氏

「森林の現状と防鹿対策の実際について」
京都大学農学部講師 高柳 敦氏

体験
防鹿ネットの設置作業

—森の恵みを次世代につなぐ京都の森づくりを通じた地球温暖化対策モデル事業—

この事業は、森の恵みを受ける皆で森林を守り育てる京都モデルフォレスト運動の活動の一環として、森林整備を支えるしくみづくり等による持続可能な社会の形成を目的とし、平成27年度年賀寄付金配分事業を受けて開催します。

